

令和 3 年度 生田高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史特講	学年	3	教科書	自主作成教材
		単位数	3	副教材	

学習目標	1 学年における世界史 A の学習を踏まえて、近・現代史を中心とした世界史の基本的な知識・流れを身につけ、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。国際社会の中で生きる平和で民主的な国家・社会を形成する日本人として、歴史的事実や背景を考察に入れ、公正に判断できる力を養う。															
学習方法	板書、プリント、年表などを使用して、講義形式の授業を中心に学習を展開する。地理的条件や日本の歴史と関連付ける資料集などを活用し、より詳しく調べ、発表を行う。受験に向けた問題演習を行い、より理解を深めながら知識や考え方についての発展を図る。															
学習評価	<table><tr><th colspan="2">評価の観点</th><th>科目の評価の観点の趣旨</th></tr><tr><td>a</td><td>感心・意欲・態度</td><td>世界史の大きな流れに対する関心と意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする態度を養成する。</td></tr><tr><td>b</td><td>思考・判断・表現</td><td>各時代の特徴や文化の多様性、現代の世界の諸課題との関連性などを多角的に考察・判断する。考察した過程や結果について、適切に文章で表現できるようにする。</td></tr><tr><td>c</td><td>資料活用の技能</td><td>諸資料の見方を習得し、有用な情報を選択・分析して活用することを通して、歴史的事象を多角的に追究する方法を身につける。</td></tr><tr><td>d</td><td>知識・理解</td><td>世界の歴史に関する基本的な事柄を政治、経済、社会、文化、宗教など様々な観点から取り上げ、日本の歴史と関連させ多角的に理解し、その知識を身につけられるようにする。</td></tr></table>	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	a	感心・意欲・態度	世界史の大きな流れに対する関心と意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする態度を養成する。	b	思考・判断・表現	各時代の特徴や文化の多様性、現代の世界の諸課題との関連性などを多角的に考察・判断する。考察した過程や結果について、適切に文章で表現できるようにする。	c	資料活用の技能	諸資料の見方を習得し、有用な情報を選択・分析して活用することを通して、歴史的事象を多角的に追究する方法を身につける。	d	知識・理解	世界の歴史に関する基本的な事柄を政治、経済、社会、文化、宗教など様々な観点から取り上げ、日本の歴史と関連させ多角的に理解し、その知識を身につけられるようにする。
評価の観点		科目の評価の観点の趣旨														
a	感心・意欲・態度	世界史の大きな流れに対する関心と意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする態度を養成する。														
b	思考・判断・表現	各時代の特徴や文化の多様性、現代の世界の諸課題との関連性などを多角的に考察・判断する。考察した過程や結果について、適切に文章で表現できるようにする。														
c	資料活用の技能	諸資料の見方を習得し、有用な情報を選択・分析して活用することを通して、歴史的事象を多角的に追究する方法を身につける。														
d	知識・理解	世界の歴史に関する基本的な事柄を政治、経済、社会、文化、宗教など様々な観点から取り上げ、日本の歴史と関連させ多角的に理解し、その知識を身につけられるようにする。														

学期	内容のまとめ	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
一学期 12 週	一体化の進展と 世界の再編	12	資本主義の発展と帝国主義	・ウィーン体制の崩壊過程、資本主義社会の展開とその矛盾について考える。 ・ドイツ、イタリアの統一の流れとその意義を考察する。 ・アメリカの諸産業や国力の躍進、南北戦争後について理解する。	○	○	○	◎	a ：課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b ：課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c ：資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d ：歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けている。	授業観察 提出課題 定期試験
		12	アジア諸地域の変革運動	・日本を含む列強の植民地分割とアジア・アフリカの情勢について理解する。 ・交通・通信の発達による世界の一体化、移民他の人口移動の発生を考察する。	○	○	○	◎		
		12	世界戦争の時代	・1次大戦の経緯を詳細に考え、途中で起きたロシア革命や日本やアメリカの参戦について理解する。 ・戦後のアメリカ躍進と世界恐慌後の独伊のファシズム台頭、アジア・アフリカ諸国の動きについて理解する。	○	○	○	◎		

二 学 期 14 週	一体化の進展と 世界の再編	21	世界戦争 の時代	・第2次大戦の経緯を詳細に考え、並行して日中戦争や太平洋戦争の原因、結果について詳しく理解する。	○	○	○	◎	a ：課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b ：課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c ：資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d ：歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けている。	授業観察 提出課題 定期試験
	地球世界の成立	21	国民国家体制 と東西の対立	・戦後の冷戦構造、東西両陣営やアジア・アフリカ諸国の独立の様子について理解する。 ・西欧のEU成立までの動きを理解し、社会主義政権崩壊後の東欧の動きと役割を知る。 ・中国・東南アジア諸国やBRICSの躍進とイスラム諸国の関する紛争、事件についてアメリカの役割や経緯を含め考える。 ・受験演習を行う。	○	○	○	◎		
三 学 期 9 週	地球世界の成立	14	経済のグロー バル化と新た な地域秩序	・最新の世界情勢について、歴史的な背景を考察しつつ考える。	○	○	○	◎	a ：課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b ：課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c ：資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d ：歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けている。	授業観察 提出課題 定期試験
		13	21世紀を生きる－地球的課題の時代	・世界の情勢変化の中での科学分野や日本の役割について考える。 ・受験演習を行う。	○	○	○	◎		
合計時数(50分授業)		105								